

新入生校外研修

4月7日から9日までの3日間、新入生を対象に研修旅行を行いました。この研修は新しい環境での友達づくりと積極的な行動力を養うこと、そしていろいろなカリキュラムを通して頭と体を使い新しい自分を発見してもらうために実施しています。また、あわせて学園生活に必要なルールや学校の授業に関する仕組みを理解するためのオリエンテーションも組み込まれています。

研修は山梨県の河口湖および石和温泉周辺で実施されました。研修プログラムはクラス単位・グループ単位で数々の課題をこなしてチームワークを養ったり、クラスメイトや担任の先生



クラスミーティング



玉探イベント

本校はすでに皆さんもご存じのように、本田技研工業(株)の創設者である本田宗一郎が設立した学校です。本田さんが学園を設立した目的は「人に愛され、信頼される技術者を育て、社会に貢献すること」にあります。これを基に「社会に



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます

あつて人に愛される、マナーやマインドを磨く、「時代の変化を敏感に捉え、実践第一の技術力を学びとる」、「企業市民の誇らしい一員として、社会活動への理解と行動力を育む」という3つの育成方針を定め、皆さんにこの学園で学んでいただきます。多くの人とコミュニケーションをとることで信頼は生み出され、様々な考え方ができるようになります。そのためには「人」を磨かなくてはなりません。また、自分から積極的に学ぼうとする姿勢が大切です。皆さんはこれから2年、4年間の学園生活は人間性を磨くための期間です。学業だけでなく、さまざまなことにチャレンジしてください。一日一日を大切に過ごし、目標に向かって頑張ってください。

(要約)

4月6日、本校5号館講堂にて第35回入学式が挙行されました。今年度の新入生は自動車整備科95名、一級自動車整備研究科52名、自動車開発エンジニア科45名、国際自動車整備科7名の計199名です。新入生の保護者の方々、多くの来賓の方においでいただき祝福していただきました。

ここで小栗校長による新入生へのお話を紹介します。

入学式



部活動紹介

入学式後は新入生と保護者の方々の晴れやかな笑顔が印象的でした。保護者の方々には後援会総会にご参加をいただき新入生には体育館にて各クラブより活動内容の紹介が行われました。先輩達が資料や映像と使用しているマシンなどの展示をして、部員勧誘へ熱のこもったプレゼンテーションがありました。

国家試験結果

二級ガソリン 227名合格 232名中：合格率98%	二級ジーゼル 225名合格 232名中：合格率97%	一級小型 17名合格 28名中：合格率60%
---	---	-------------------------------------

平成22年3月21日(日)に実施された「平成21年度第2回自動車整備技能登録学科(筆記)試験」において二級ガソリンは232名中227名が合格し、二級ジーゼルは232名中225名が合格を果たしました。一級小型については28名中17名が合格となっています。昨年度は例年に比べて難易度が高かったようで全国の合格率は二級ガソリンで77.8%(前年度91.2%)、二級ジーゼルは88.2%(前年度95.1%)、一級小型は25.3%(前年度30.8%)という結果でした。今年度は全員合格に向けて頑張っていきます。

安全運転講習会

新入生を対象にした安全運転講習会を4月13日より学科毎の3グループにわけて実施しました。この講習会では安全意識を高めることを目的として、安全に関する講義と実際に運転すること、危険予知や特に二輪車の特性を体験していきます。



免許保持者は運転技量にあわせたバイクで講習



免許のない人も実際に運転を体験

免許を持っている人は乗車経験や運転技術にあわせて車両を選択し、免許のない人も原付での乗車講習を行います。初めて二輪車に乗る人も多く、安全運転を心がけながら二輪をあやつる楽しさを実感してもらいました。学園では更なる安全意識と運転レベルのステップアップがはかれるように、2年生の時にも安全運転講習会を行っています。

着任しました



黒木 耕二
3月1日付でHMJより社会人講師として着任しました黒木です。当校の卒業生ですが規模と設備の充実が驚いており、ここ数年自動車産業は変化のスピードが速く、技術的にも最新の知識が必要な時代となって参りました。それだけに若い皆さんには活躍のチャンスがあると思います。二輪一筋30年、修理から販売までの経験を活かし、業界の発展に寄与する人材輩出に貢献できればと思いますので、宜しくお願い致します。



内田 均
4月1日付でホンダカーズ東京中央より社会人講師として参りました内田と申します。当校を5期で卒業し(株)無限(現HITEC)に入社、製作部門と開発部門を経験した後、



長谷川 洋
プロダクトモデリング科の新規立ち上げに伴い、本田技術研究所 四輪R&Dセンターよりまいりました長谷川洋と申します。スタイリングデザイナーに関する立体物を図面ではなく3Dのデータで表現するという、世間的にはまだまだ認知度の低い分野ですが、工業製品開発には欠かせないのでこの職種を、そのやりがいも含めて伝えていきたいと考えております。私自身、未だ勉強中の身ではありますが、よろしくお願致します。



小谷野 光弘
4月1日付でホンダカーズ埼玉より社会人講師として参りました小谷野と申します。販売会社に入社して20年間サービス業務を経験してきました。今回シャシ単元を担当させていただきますこと、学生の皆さんにアドバイスをできることなどたくさんあると思います。充実した学生生活をサポートしていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



小井戸 洋人
4月1日より(株)ホンダモーターサイクルジャパン営業部人材育成課へ異動致します。3年間、「私が楽しい授業」に付いて来てくれてありがとう。卒業すれば頼れるのは自分だけ、職場でキラキラ光るよう得意分野をしっかりと磨いてください。一皮剥けた皆さんとどこかでお会いできるのを楽しみにしています。



藤川 房夫
4月1日より(株)ホンダカーズ埼玉オートのテラス所沢店へ復帰致します。社会人講師として皆さんと過ごした2年間という期間は、私の人生においても貴重な経験になりました。在校生の皆さんは社会人としての基礎をしっかり身につけて、明るく楽しい将来に向かって勉強、遊びに頑張ってください。どうもありがとうございました。



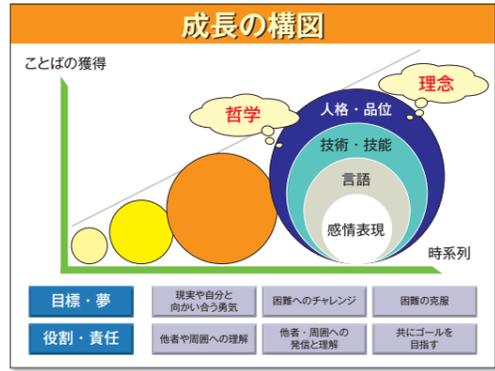
吉田 知二
4月1日付でホンダカーズ東京中央の本社に異動となりました。本社は安全運転講習の講師として従事することとなりました。2年間みなさんと一緒に私も勉強させていただきました。同好会を通じて、学園に訪れることもあるかと思っております。その時は気軽に声をかけてください。

異動します

平成 21 年度 卒業式表彰受賞者

内 容	代表 学生	科名	クラス
全国自動車整備専門学校協会 会長賞 (JAMCA)	史 話	研究	4年2組
	根内 俊輔	自整	2年6組
埼玉県専修(学)各種学校教育振興会 会長賞	佐々木政成	1級	4年1組
	島崎 一暢	自整	2年3組
	山田 卓	自整	2年1組
	青田 慎吾	自整	2年6組
	八鍬 裕介	自整	2年5組
	市川 涼	自整	2年9組
	中井俊太郎	開発	2年1組
	金田 直之	開発	2年2組
日本自動車整備振興会連合会会長賞	高 給璃沙	研究	4年2組
	黒澤 健太	1級	4年1組
専修学校教育振興会理事長賞	佐々木康行	自整	2年4組
	内山 純太	自整	2年5組
	木下 大輔	自整	2年3組
	森川 裕貴	自整	2年4組
	田中健太郎	開発	2年1組
	瀬戸 隆正	開発	2年3組
	山之内 優	開発	2年3組
	安部 貴淑	自整	2年2組
埼玉県自動車整備振興会会長賞	戸田 秀信	自整	2年8組
	武田 圭祐	開発	2年3組
全国専門学校体育連盟スポーツ賞	八鍬 裕介	自整	2年5組
	眞下 裕之	自整	2年9組
ホンダ学園奨励会会長賞	渡邊 隆大	自整	2年8組
	金澤 大地	自整	2年6組
校長表彰	努力賞 オフロト部	自整	2年6組
	レポート表彰1	自整	2年6組
	レポート表彰2	自整	2年3組
	努力賞	開発	2年1組
	努力賞	開発	2年1組
	努力賞	研究	4年2組
	努力賞	研究	4年2組
	努力賞	研究	4年1組

卒業生のみならず、そしてご臨席の保護者の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。ある人は2年そして、ある人は4年間をじっくり振り返ってみてください。この間に世の中は大きく変化をいたしました。現在の世界大不況の端緒であるリーマンショックが起ったのは一昨年の年末でした。この影響で一気に就職戦線は緊急事態となり、卒業生のみならずには本当に苦労した就職活動でした。そんな状況をそれぞれが逞しく乗り越えてきた結果の今日の日があります。



この2年間そして4年間のみなさんを見てきて、良く成長してくれたなと、感慨深いものがあります。みなさん自身が感じられないかも知れません。確かにそれは見てとれます。人が成長すると獲得していくものに「ことば」があります。ここでいう「ことば」とは自らを他者に理解してもらいたい相手に働きかける道具です。含みますが、感情表現や技能、技術のような「できる」ことも含んでいます。成長の証は、自分の感情を豊かに表現したり、感情を制御できるなどに見られます。もちろん言語にも著しい成長が認められます。今使っている言葉の数は、入学した時の比ではないバランスよく膨らんでくると、人としての品格が備わり、人格が健全に形成されてきます。その輪がさらに大きくなると、今までに理解できなかったものが理解できるようになります。例えば、哲学的なことや理念的なことがそれです。

この学校に入った時からみなさんは「人に愛され、信頼される技術者を目指せ」と言われてきました。確かに言葉ではそうですが、実際に理解され消化されたでしょうか。実は、まだ理解が十分でない人が多いと思います。しかし、これから社会に出て幾多の実践を重ねる中で、皆さんが獲得する「ことば」はさらに大きくなってきます。それがあつた高きまで到達すると、山の頂に登ったように視界が広がり、今まで単なる頭の中の言葉であったものが、実体を帯びて感じるようになるのです。哲学を捉えた瞬間、それが成長の姿なのです。

平成22年3月12日、川越プリンスホテルにて「平成21年度卒業式」が挙行されました。卒業生は一級自動車整備研究科6期生28名、自動車整備科33期生186名、自動車開発エンジニア科1期生59名で合計は273名です。多くのご来賓の方々、保護者の方においでいただき卒業式の門出を祝福していただきました。ここで小栗校長からの式辞を紹介いたします。

卒業式



謝恩会ではクラスメイトと記念撮影

今、皆さんが進んでいく自動車業界は大きな転換点を迎えています。変化が大きければさらに新しい「ことば」が必要とされます。是非、大きな「ことば」の輪を育てていくべきだと思います。皆さんと過ごした時間は、私たち教職員にとっても楽しく充実した時間でした。ありがとうございました。そしておめでとうございます。



強度解析を説明する学生
注目を集めたホバークラフト
テストの乗り物

3月4日、5日に自動車開発エンジニア科2年生による卒業生製作発表会を行いました。2年間の集大成として、自分たちの考えたモノを実際に企画段階から設計、製作し発表を行うものです。発表では、パワーポイントを使ったプレゼンテーションを行い、コンセプトや性能を示した資料と製作過程のVTRや実物の展示も同時に行います。

モノづくりの学びの集大成を発表

この卒業製作では、開発フローを理解するために加工や組み立てだけでなく、性能目標やコスト、作業スケジュールを作成して提案を行います。提案は評価会という形で校長や先生からの質問やアドバイスを受けて、作成するモノや進め方の確認を行いながら、場合によっては大幅な設計変更が発生する場合もあります。例年、モビリティに関連するモノが多くデモンストレーションで試乗するのが楽しいという先生や完成度の高い作品に後輩や先生方を驚かせるものもあります。今年は車いすの階段昇降をサポートするものやホバークラフトにヒントを得た新しい乗り物がとてもユニークでした。

一級自動車整備研究科 課題研究発表

3月6日に一級自動車整備研究科の3年生による研究発表会が行われました。この発表会は整備士資格の最高峰を目指す一級課程では大学と同等の高度専門士の称号にふさわしい技術と知識を身につけるために、教科書だけでなく自分たちのテーマを研究し、それを発表する場です。それぞれ、今まで学んだことをベースにさらなる知識の習得や実験や製作を通じて研究テーマ内容をプレゼンテーションします。自動車開発エンジニア科の製作発表は作品製



ほとんど初めてのカートレース
部活紹介コーナーもありました

1日を通じて「カート耐久レース」「クルマバイク系部活動紹介」「ゲーム大会」に参加してもらいました。オプションで免許保持者はNSXの運転ができるコーナーもありました。また、助手席体験乗車も免許がない人もスポーツカーの乗車フィーリングを体験できるということで人気がありました。チームで「カート耐久レース」を戦いながら、初めて会った人と話をして仲よくなった、部活動紹介で先輩たちに学校の様子を聞いたりする人もいました。「ゲーム大会」ではマテックなクイズの内容に唖然とする場面やチームごとに大きく盛り上がりを見せたりと楽しいイベントとなりました。

国際自動車整備科2期生 ニュージーランドへ 出発

2010年3月30日、国際自動車整備科の8名が海外での研修のために成田より



元気に成田を出発しました

出発しました。当日は家族や友人たちが空港まで見送りにいき、新しい門出を祝福しました。これからの約9ヶ月間は語学力の向上と実際に仕事をする中で整備技術や職場の同僚とのコミュニケーションスキルを磨いていきます。スタート時は英会話スクールでの英語力アップとニュージーランドの環境になれるというウォーミングアップが約1ヶ月。その後は現地のディーラーで本格的な仕事がスタートします。海外での生活を通じて語学力、技術力に加えて、グローバル感覚を磨いて世界で活躍できるモノの見方を身につけてほしいと思います。帰国時のみんなの成長を楽しみに待っています。



後継親会では、全国から集まった会員の皆様が学園や自動車業界の情報交換を中心に親睦を深める様子が見受けられ、賛助会の果たす役割の必要性をさらに実感しました。

賛助会総会

ホンダ学園賛助会総会が、去る4月19日東京・池袋のホテルメトロポリタンにて44名の参加者を集め開催されました。この賛助会はホンダの関連関係会社を中心に構成され、就職や奨学金など、学校を多方面から支援していただいております。



総会では、昨年度の事業報告と新年度の活動計画の説明とともに、学園からの教育活動報告が行われました。続いて本田技研工業(株)専務取締役の浜田理事長による「HONDAの環境負荷軽減の取組み」の講演が行われました。その後の懇親会では、全国から集まった会員の皆様が学園や自動車業界の情報交換を中心に親睦を深める様子が見受けられ、賛助会の果たす役割の必要性をさらに実感しました。

3月5日に大井寮、3月24日に鶴ヶ岡寮でさよならパーティーが開催され先輩を送り出すイベントとして楽しく盛り上がりました。それぞれの寮の後輩たちが感謝をこめて送り出すために数々の趣向をこらして行われています。各寮ごとにクイズ、ビンゴ、記録ムービー、じゃんけん大会なども行われました。寮マネージャー夫妻への感謝や寮の楽しかった思い出などを話してくれました。パーティーには校長をはじめ先生も多数参加して、学校や寮での思い出話に花が咲きました。

寮さよならパーティー